

新	旧
(発行者名) 一般社団法人 <u>日本</u> 体育・スポーツ・健康学会 III. 原稿の作成 1. フォーマットと文字数 1) 原稿のフォーマット 原稿は、本文・文献表・図表の順番で作成し、各ページ「40 字 30 行」で作成、全体のページ数は「<u>投稿規程</u> 7. 1) 2) 3) 4)」の <u>規程</u> 内で作成してください。 2. 論文作成上の注意 <u>5) AI ツールの使用とその明記</u> <u>「AI ツール使用方針」に従い、使用した AI ツール（システム・サービス・ソフトウェア）の種類と使用方法、その目的、使用年月日および論文原稿の該当箇所等を必ず明記してください。</u> <u>(1) 明記が必要な例</u> <u>英文概要を含む論文原稿の執筆や研究アイデア構築のサポート。</u> <u>先行研究の翻訳、整理など、論文作成に関する準備作業。</u> <u>図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）の作成。</u> <u>研究方法の一部として AI ツールを使用した場合。</u> <u>(2) 明記が必須でない例</u> <u>スペルチェック、文法の確認、誤字脱字の修正、句読点の確認。</u> <u>(3) 明記の例</u> <u>付記</u> <u>1) 先行研究の翻訳に AI 翻訳サイト〇〇〇を〇年〇月〇日、使用した。</u> <u>2) 図〇〇の作成に AI ツール〇〇〇を〇年〇月〇日、使用した。</u> <u>全著者は AI ツールが生成した全ての内容について精査・修正を行い、その科学的妥当性及び独自性を確認の上で使用し、最終的な内容に関する全責任を負う。</u>	(発行者名) 一般社団法人 <u>日本日本</u> 体育・スポーツ・健康学会 III. 原稿の作成 1. フォーマットと文字数 1) 原稿のフォーマット 原稿は、本文・文献表・図表の順番で作成し、各ページ「40 字 30 行」で作成、全体のページ数は「<u>投稿規定</u> 7. 1) 2) 3) 4)」の <u>規定</u> 内で作成してください。 2. 論文作成上の注意 <u>*新設</u>

4. 図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）の作成 …なお、1 ページあたり 1 点の図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）をレイアウトしたものに加えて、別途作成してください。 <u>図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）の作成に関し、AI ツールを使用した場合は、付記と本文に明記してください。</u> 5. 文献表の作成 1) 定期刊行物（いわゆる雑誌）の書き方 定期刊行物の場合の書誌データの表記は、著者名（発行年）論文名．誌名，巻（号）：ページ．の順とします。 <u>定期刊行物に Digital Object Identifier（略称 DOI）が付与されている場合は、ページ．の後ろに必ず明記してください。</u> (4) 巻号およびページ [例] ⑤ Rowlands, A.V., Stone, M.R., and Eston, R.G. (2007) Influence of speed and step frequency during walking and running on motion sensor output. Med. Sci. Sports Exerc., 39: 716-727. https://doi.org/10.1249/mss.0b013e318031126c. ⑥ Gray, R. (2004) Attending to the execution of a complex sensorimotor skill: Expertise differences, choking, and slumps. J. Exp. Psychol., Appl., 10: 42-54. http://doi.org/10.1037/1076-898x.10.1.42. ⑦ Taylor, D. (2007) Performance efficiency rating for basketball. Coach and Athletic Direction, 26(1): 26-28. ⑧ 小野桂一・若吉浩二・山南真美・尾関美和・福本隆行（2002）バレーボールのセッターにおけるオーバーハンドパスについての研究—上肢に着目して—。スポーツ方法学研究, 15（1）:127-136. https://doi.org/10.24776/jcoaching.15.1.127. ⑨ 徳永幹雄・橋本公雄（2002）健康度・生活習慣の年代的差異及び授業前後での変化。健康科学, 24: 57-73. https://doi.org/10.15017/739.	4. 図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）の作成 …なお、1 ページあたり 1 点の図表、動画、写真、その他の資料（付録などを含む）をレイアウトしたものに加えて、別途作成してください。 5. 文献表の作成 1) 定期刊行物（いわゆる雑誌）の書き方 定期刊行物の場合の書誌データの表記は、著者名（発行年）論文名．誌名，巻（号）：ページ．の順とします。 (4) 巻号およびページ [例] ⑤ Rowlands, A.V., Stone, M.R., and Eston, R.G. (2007) Influence of speed and step frequency during walking and running on motion sensor output. Med. Sci. Sports Exerc., 39: 716-727. ⑥ Gray, R. (2004) Attending to the execution of a complex sensorimotor skill: Expertise differences, choking, and slumps. J. Exp. Psychol., Appl., 10: 42-54. ⑦ Taylor, D. (2007) Performance efficiency rating for basketball. Coach and Athletic Direction, 26(1): 26-28. ⑧ 小野桂一・若吉浩二・山南真美・尾関美和・福本隆行（2002）バレーボールのセッターにおけるオーバーハンドパスについての研究—上肢に着目して—。スポーツ方法学研究, 15（1）:127-136. ⑨ 徳永幹雄・橋本公雄（2002）健康度・生活習慣の年代的差異及び授業前後での変化。健康科学, 24: 57-73.
---	---

(5) 早期公開論文 正式に発刊される前の早期公開論文を引用する場合は、以下の例を参照し、巻（号）、ページの代わりに <u>DOI</u> を記載してください。発行年は、早期公開年です。 [例] ⑩ 角川隆明・高木英樹・仙石泰雄・椿本昇三（2012）平泳ぎ泳パフォーマンスと圧力分布から推定した足部流体力との関係．体育学研究，https://doi.org/10.5432/jjpehss.12003. 2) 単行本の書き方 (1) 単行本全体の場合 …英文では編集者が 1 人の場合は（ed.），複数の場合は（eds.）をつけます。 <u>ISBN が表記されている場合は、必ず明記してください。</u> [例] ⑫ 桜井厚（2002）インタビューの社会学．せりか書房。 ISBN:9784796702379. ⑬ Siedentop, D. and Tannehill, D, （2000） Developing teaching skills in physical education (4th ed.). Mayfield Publishing Company. ISBN:0767410238. ⑭ 原田宗彦・木村和彦編（2010）スポーツ・ヘルスツーリズム．大修館書店。 ISBN:9784469266931. ⑮ Moritz, E.F. and Haake, S. (eds.) (2006) The Engineering of Sport 6. Springer. ISBN:0387317732. (2) 単行本の一部の場合 [例] ⑯ Deery, M. and Jago, L. (2006) The management of sport tourism. In: Gibson, H. (eds.) Sport tourism: Concept and theories. Routledge, pp. 246-263. ISBN:9780415464185. ⑰ 山崎喜比古（2008）ストレス対処能力 SOC とは．山崎喜比古ほか編，ストレス対処能力 SOC．有信堂高文社，pp. 3-24. ISBN:9784842065748. (3) 翻訳書の場合 [例] ⑱ ディクソン：水戸重之訳（2010）メジャーリーグの書かれざるルール．朝日新聞出版．	(5) 早期公開論文 正式に発刊される前の早期公開論文を引用する場合は、以下の例を参照し、巻（号）、ページの代わりに <u>Digital Object Identifier（略称 DOI）</u> を記載してください。発行年は、早期公開年です。 [例] ⑩ 角川隆明・高木英樹・仙石泰雄・椿本昇三（2012）平泳ぎ泳パフォーマンスと圧力分布から推定した足部流体力との関係．体育学研究， doi:10.5432/jjpehss.12003. 2) 単行本の書き方 (1) 単行本全体の場合 …英文では編集者が 1 人の場合は（ed.），複数の場合は（eds.）をつけます。 [例] ⑫ 桜井厚（2002）インタビューの社会学．せりか書房． ⑬ Siedentop, D. and Tannehill, D, （2000） Developing teaching skills in physical education (4th ed.). Mayfield Publishing Company. ⑭ 原田宗彦・木村和彦編（2010）スポーツ・ヘルスツーリズム．大修館書店． ⑮ Moritz, E.F. and Haake, S. (eds.) (2006) The Engineering of Sport 6. Springer. (2) 単行本の一部の場合 [例] ⑯ Deery, M. and Jago, L. (2006) The management of sport tourism. In: Gibson, H. (eds.) Sport tourism: Concept and theories. Routledge, pp. 246-263. ⑰ 山崎喜比古（2008）ストレス対処能力 SOC とは．山崎喜比古ほか編，ストレス対処能力 SOC．有信堂高文社，pp. 3-24. (3) 翻訳書の場合 [例] ⑱ ディクソン：水戸重之訳（2010）メジャーリーグの書かれざるルール．朝日新聞出版．＜
--	--

ISBN:9784022507594 < Dickson, P. (2009) The unwritten rules of baseball. Collins. > ISBN-13:978-0061971242. ⑱ アメリカスポーツ医学会編：日本体力医学界体力科学編集委員会監訳（2006）運動処方の指針原著第7版. 南江堂. ISBN:4524224238. 7. 謝辞, 付記など 公平な審査を期するために, 謝辞および付記などは原稿「受理」後に書き加えることとし, 投稿時の原稿には入れないでください. ただし, AI ツール使用に関しては明記してください. IV. チェックリスト 「投稿規程」および「投稿の手引き」をよく読んだうえで, 原稿を作成してください. 記 述 ☐ 原稿にすべての図表, 動画, 写真, その他の資料（付録などを含む）の挿入箇所が示されている. ☐ 句読点は「, 」 「. 」を使用した. ☐ 文献表は著者名のアルファベット順, ついで刊行年順に並べた. ☐ 文献にDOI, ISBNを付けた（該当する場合）. ☐ 謝辞や付記は記述していない (AIツールの使用は明記した). AI ツール使用（該当する場合） ☐ 「AI ツール使用方針」をよく読んだ. ☐ AI を著者として記載していないことを確認した. ☐ AI 搭載ツールを使用した場合は付記と本文に明記した. (例:「先行研究の翻訳に AI 翻訳サイト〇〇を使用した」など)	Dickson, P. (2009) The unwritten rules of baseball. Collins. > ⑱ アメリカスポーツ医学会編：日本体力医学界体力科学編集委員会監訳（2006）運動処方の指針原著第7版. 南江堂. 7. 謝辞, 付記など 公平な審査を期するために, 謝辞および付記などは原稿「受理」後に書き加えることとし, 投稿時の原稿には入れないでください. IV. チェックリスト 「投稿規程」および「投稿の手引き」をよく読んだうえで, 原稿を作成してください. 以下はあくまでも形式的な事項についてのみと考えてください. 記 述 ☐ 原稿にすべての図表, 動画, 写真, その他の資料（付録などを含む）の挿入箇所が示されている. ☐ 句読点は「, 」 「. 」を使用した. ☐ 文献表は著者名のアルファベット順, ついで刊行年順に並べた. ☐ *新設 ☐ 謝辞や付記は記述していない. *新設
--	---

(以上)